

小学校における消費者教育の実施状況アンケート実施結果

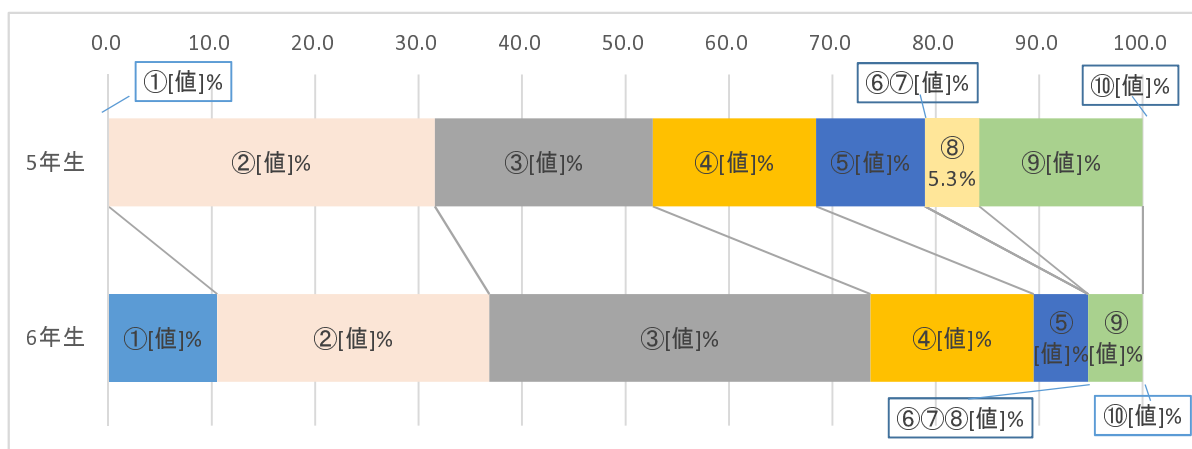
調査の目的: 第2次長野県消費生活基本計画の策定に向けた資料とするため、小学校における消費者教育の実施状況等を把握する。

調査対象者: 県教育委員会が抽出した県内の19小学校

調査期間 : 平成29年8月

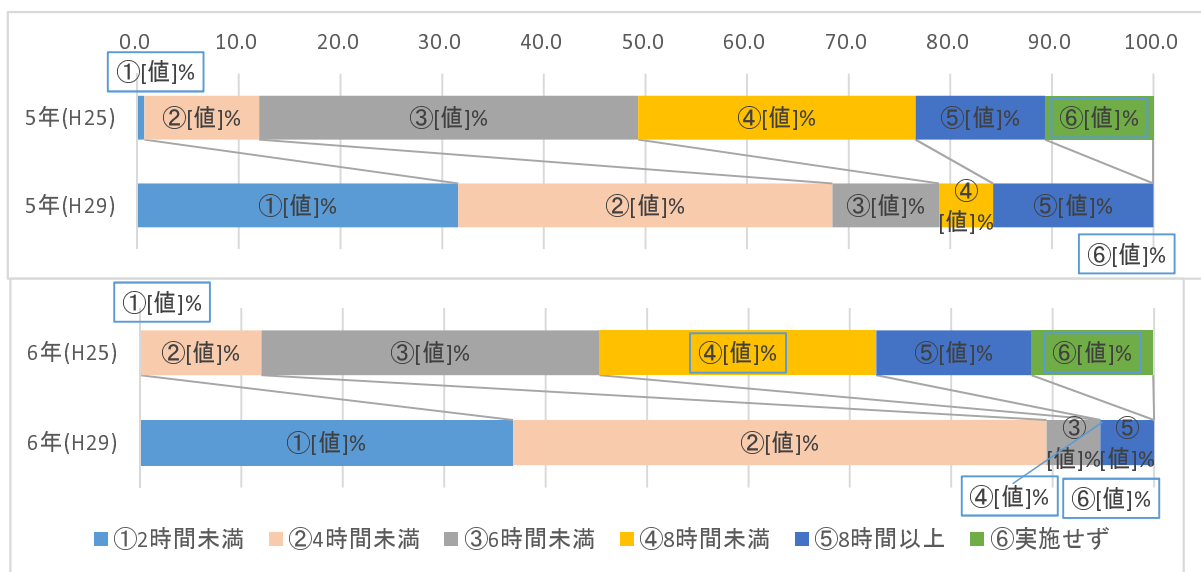
1 家庭科における消費者教育実施時間の状況(5年生～6年生)

- (凡例)
- ①: 1時間未満
 - ⑥: 5時間以上6時間未満
 - ②: 1時間以上2時間未満
 - ⑦: 6時間以上7時間未満
 - ③: 2時間以上3時間未満
 - ⑧: 7時間以上8時間未満
 - ④: 3時間以上4時間未満
 - ⑨: 8時間以上
 - ⑤: 4時間以上5時間未満
 - ⑩: 実施していない

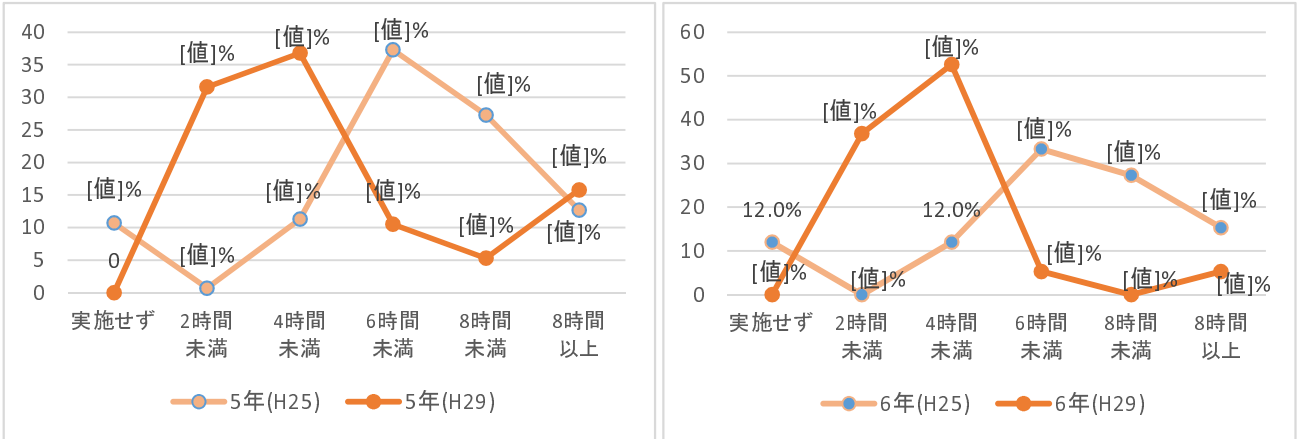


- ・消費者教育を実施していない学校はない。
- ・5年生より6年生の方が実施時間は短くなる傾向がある。

1-2 家庭科における消費者教育実施時間の状況(5年生～6年生、H25比較)

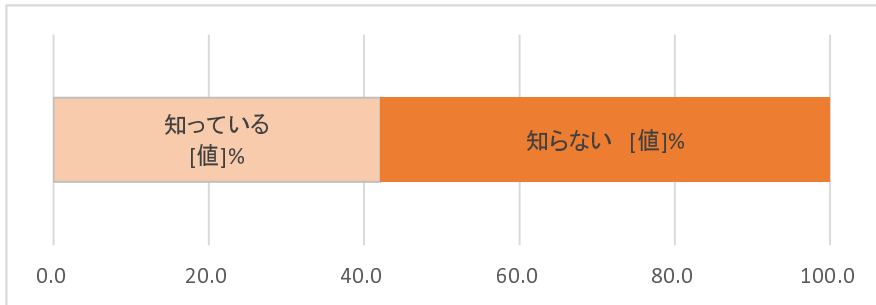


(再掲)

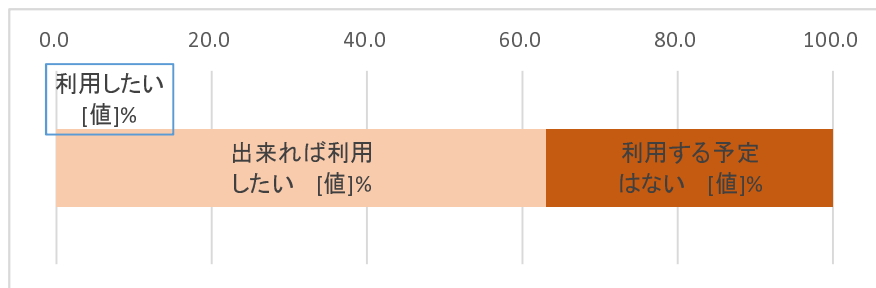


・平成25年調査と比較すると、5年生、6年生ともに実施時間は短くなる傾向がある。

2 消費者教育推進講師派遣制度の認知状況

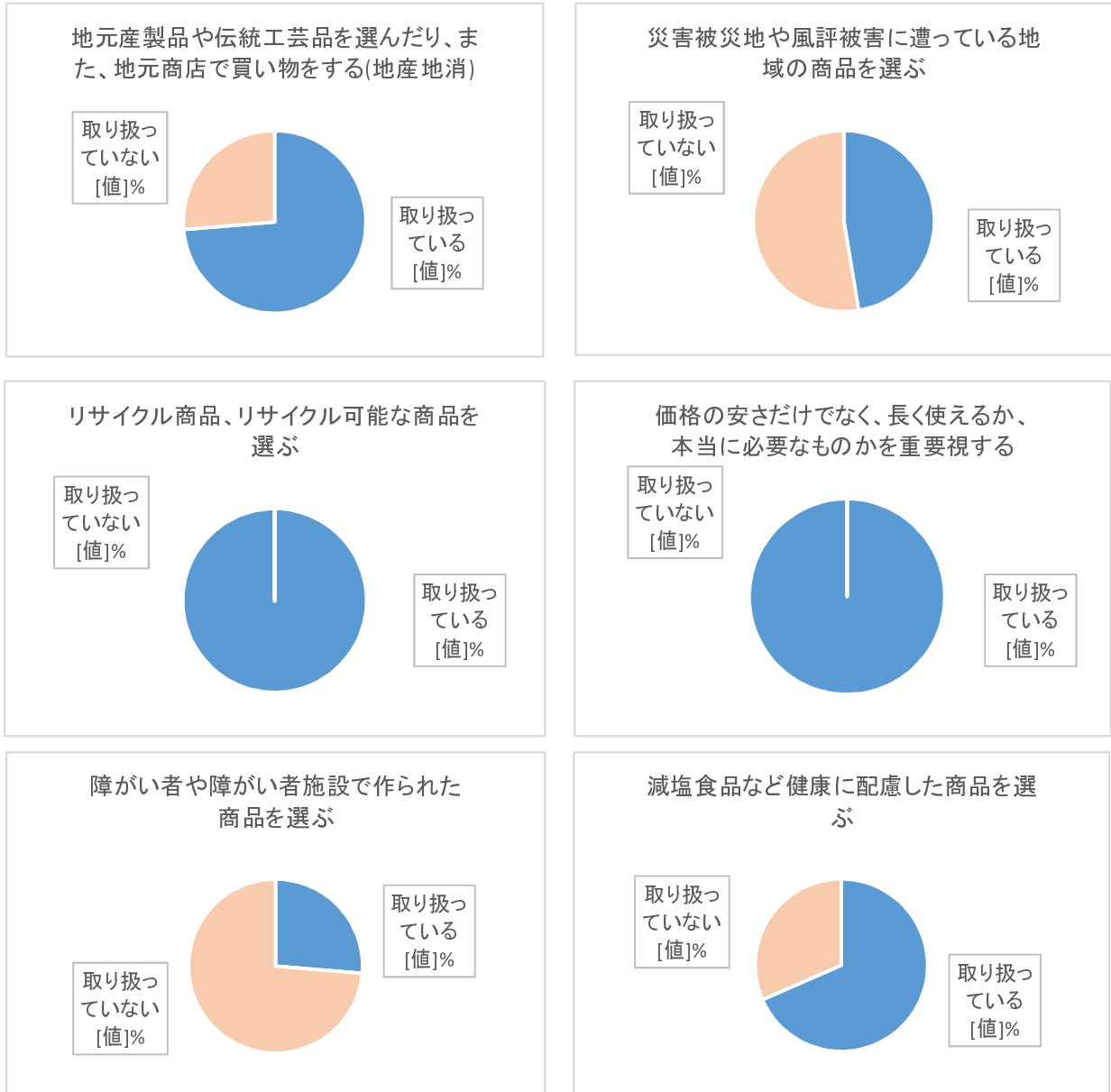


3 消費者教育推進講師派遣の利用希望状況



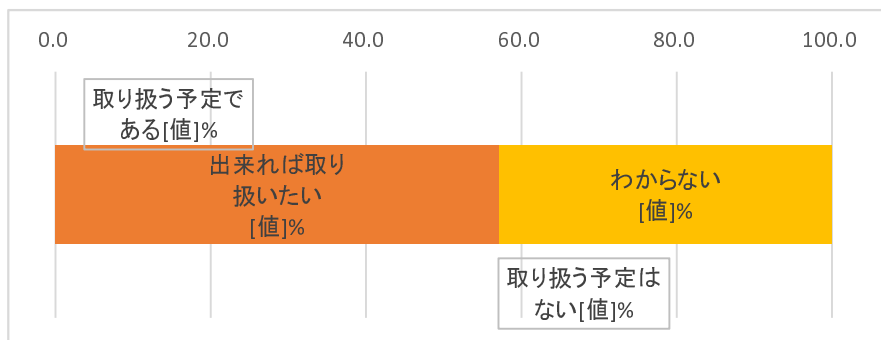
・当該制度の認知度は約4割だが、利用したいと回答した学校はなかった。

4 エシカル消費に関する消費者教育での取り扱いについて



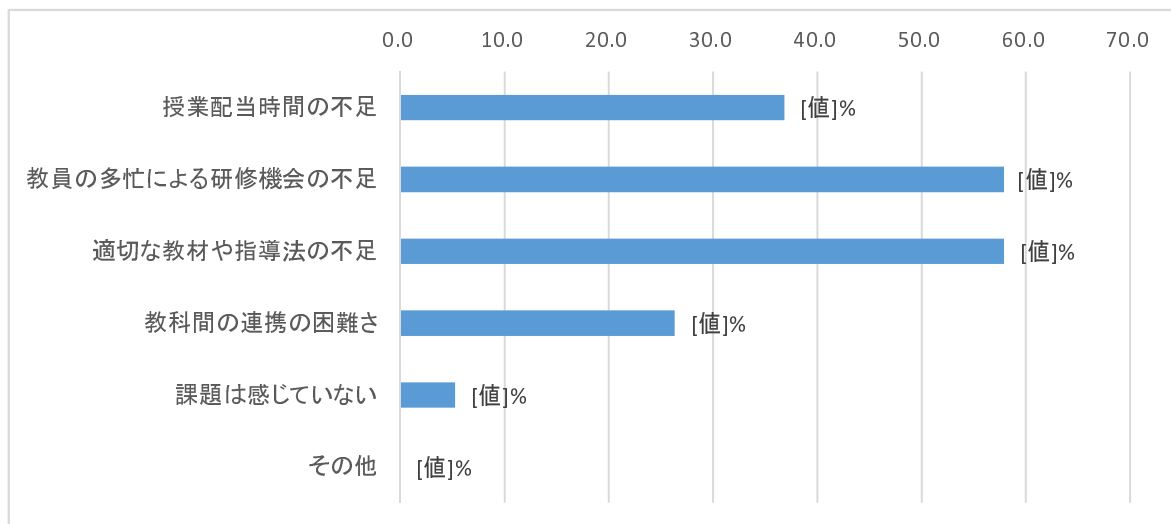
・災害被災地関連商品や障がい者関連商品を取り扱っている学校は半数に満たない。

5 今後のエシカル消費に関する消費者教育での取り扱いについて



・出来れば取り扱いたいと考えている学校が6割近くある。

6 消費者教育を実施するうえでの課題(複数回答可)



- ・「研修機会の不足」「教材や指導法の不足」をあげた学校が多く、「授業配当時間の不足」をあげた学校は3分の1強あった。